

読響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

そして8日目、世界は至福の響きに包まれた。

二つの日本初演とシューベルト「グレート」、優人の創造力はとどまる事を知らない！
鈴木優人 指揮 ジャン・チャクムル ピアノ

ライマン：シューベルトのメヌエットによるメタモルフォーゼン(日本初演)
アデス：イン・セブン・デイズ(日本初演) シューベルト：交響曲第8番 八長調 D944 「グレート」
読売日本交響楽団 第612回 定期演奏会
2021 10.29 金 19時開演 サントリーホール S¥7,600 A¥6,600 B¥5,600 C¥4,100

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
助成：読売文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会
協力：アフラック生命保険株式会社
読売 令和3年度(第76回)文化庁芸術祭参加公演

気鋭・鈴木優人の新たな挑戦!

“天地創造”の前後で共鳴する シューベルトとライマン 新星チャクムルが アデスの話題作で読響デビュー



鈴木優人が刺激的なプログラムを展開する。作風の異なる二つの日本初演作を披露し、シューベルトを鮮烈な光で照らす。現代と過去、時空を超えて作品の真価を問う優人らしい試みだ。音楽界の未来を切り開く気鋭は、この意欲的な新企画でさらなる高みへと登り詰めるだろう。

ライマンはドイツを代表する作曲家。長年フィッシャー=ディースカウの伴奏を務めて互いに影響し合い、オペラ「リア王」や多くの歌曲を生み出してきた。それだけにシューベルトへの造詣は深い。「メタモルフォーゼン」は作曲家の生誕200年を記念して書いたオマージュ作品。冒頭のメヌエット主題は次々と楽器を変えて受け継がれ、流転するように形を変えていく。詩的なシューベルトの旋律は、蜃気楼に包まれるように溶け込みながら無限の広がりを見せる。優人は複雑な楽譜を明晰に解き明かし、幻想的な情景を鮮やかに描くだろう。

続いて浜松国際ピアノコンクールの覇者チャクムルが登場し、アデス作品で超絶技巧を繰り広げる。アデスは「ブリテンの再来」とも評されるイギリスの俊英作曲家で、名匠ラトルをして「ずば抜けた才能」と言わしめた。「イン・セブン・デイズ」は、ピアノと管弦楽で天地創造の7日間を描いた作品。アデスは、宇宙の真理への探求から生まれた「音楽」で、この壮大なテーマに挑んだ。大自然や宇宙を思わず独創的なリズムと神々しいサウンドを用い、とてつもないスケールの世界観を生み出した。最高峰の知性をもつ二人が、豊富なアイデアを駆使して本作に臨むだろう。“優人×チャクムル×読響”、今宵限りの三位一体が新たな時代の到来を告げる。

最後は、“天地創造”以前と時空を超えて共鳴するシューベルトの「グレート」。現代の音楽家にとってシューベルトは過ぎ去りし時代に完結した作曲家ではない。今日も毅然とそびえ立つ“巨人”だ。昨年、シューベルトからベリオへの流れを描き出し絶賛を博した優人は、破格のスケールをもつ本作をどのように構築するだろうか。過去との対話から築き上げる新しいシューベルト像に期待が膨らむ。

YNSO Subscription Concert No. 612
Friday, 29th October 2021, 19:00 / Suntory Hall
Conductor= MASATO SUZUKI
Piano= CAN ÇAKMUR
REIMANN: Metamorphosen on a Minuet of Franz Schubert (Japan premiere)
ADÈS: In Seven Days (Japan premiere)
SCHUBERT: Symphony No.8 in C major, D944 “The Great”



鈴木 優人 (指揮)

マルチな才能で新時代を切り開く気鋭。2020年4月から読響指揮者/クリエイティブ・パートナー。東京芸術大学及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。指揮者として国内外の楽団と共演するほか作曲家・鍵盤楽器奏者としても活躍する。13年から調布国際音楽祭のエグゼクティブ・プロデューサー。18年パッサ・コレギウム・ジャパン(BCJ)首席指揮者に就任。BCJオペラシリーズのプロデュースを務め、ヘンデルの歌劇「リナルド」はバロック・オペラの新機軸として高い評価を呼ぶ。昨年の読響《定期演奏会》でシューベルトとベリオ、チャリノを組み合わせるほか、《アンサンブル・シリーズ》ではヴィヴァルディとケージを対峙させるなど、作曲家としての経験に裏打ちされた新しいアプローチで話題を呼ぶ。今年3月芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞した。

ジャン・チャクムル (ピアノ)

2018年浜松国際ピアノコンクールに優勝し、世界から注目を集めるトルコの新星。1997年生まれ。パリのスコラ・カントルムを首席で卒業。現在ワイマール音楽大学で研鑽を積む。15年イスタンブール音楽祭の開幕コンサートでは、サッシャ・ゲツツェル指揮ボルサン・イスタンブール・フィルと共演し好評を博す。近年はロンドンのウイグモア・ホールはじめ世界各地で演奏するほか、ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管、ライブツィヒ放送(MDR)響、テラヴィ国際音楽祭管などと共演。19年8月のリサイタルはNHKで放映されて話題を呼んだ。20年「シューベルト/リスト:白鳥の歌」を自ら再編成し、BISレコードからCDをリリース。創造性に富んだ録音として国際的に高い評価を呼び、今年1月に国際クラシック音楽賞でヤング・アーティスト・オブ・ザ・イヤーを受賞した。読響初登場。

読売日本交響楽団 第612回 定期演奏会

2021年 10月29日(金) 19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,600 / A ¥6,600 / B ¥5,600 / C ¥4,100

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

■学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。 ■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。 ■マスク着用など、読響の「感染予防対策」にご協力をお願いします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017